

古賀を国際戦略総合特区に指定!

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発! ただいま
県政刷新中!

福岡県の指定面積を拡大 環境関連産業に支援制度

環境関連産業に支援制度

政府は10月、地元・古賀市について、環境を軸とした産業の国際競争力を強化する「グリーンアジア国際戦略総合特区」のエリアに指定しました。エネルギーの効率化をはじめ環境負荷の低減に貢献できる産業集積地として認められたもの。



古賀に関わる多くの県政課題を議論した決算特別委員会=2013年10月26日

今後、福岡県による特区計画(変更)の国への申請を経て、来年には、古賀市内の指定区域内(天神、駅東、花見南の一部の区域)で計画に基づき事業を実施する企業は、課税の特例措置や金融上の支援などを受けられることとなります。

特区政策に関しては、私も県議就任前から「福岡県の経済を強くする」ためにその導入の重要性を訴えていました。初めて臨んだ2011年6月議会・予算特別委員会から知事に問題提起してきた経緯もあり、古賀の指定はとても喜ばしく思います。今回、古賀などの追加指定が実現し、福岡県全体の特区の区域面積

~特別号 Vol. 3~
2013年11月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります!】
■ 9月議会の詳細

は183・7平方キロメートルに拡大しました。なお、国際戦略総合特区は、私が所属する新社会推進商工委員会が担当する重要な政策テーマであり、県経済の活性化のために引き続きしっかりと取り組めます。



福岡県議会は2012年度決算を審査する決算特別委員会を開催しました。私は委員に選任され、①原子力災害時に広域避難を受け入れる古賀市などの自治体の役割②行政による少子化対策のあり方③食育の推進と県産農産物の消費拡大④筑紫野古賀線の整備(4車線化)促進⑤県内全体の子どもたちの体力向上を目指す取り組み——をテーマに質問し、課題と改善策を提起しました。詳細は県政報告の次号(第14

また、決算特別委員会に先立ち開かれた9月定例会で、私は連続10回目の一一般質問に臨みました。テーマは、地域における子育ての活性化、子ども「外遊び」の推進と体力向上。詳細は裏面にまとめています。



特区政策に関し、予算特別委員会で知事と質疑=2011年7月

▼福岡県議会のホームページはこちら
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



田辺の政治活動を連日発信しています!

田辺かずき で 検索

ブログ(政治活動日記)
公式ホームページ

facebook
Twitter

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>
<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
アカウント→ @tanabe_kazuki

裏面へつづきます

子どもの健全育成 — 「地域一体」の重要性

9月議会 外遊びの推進と体力向上策も

県議会9月定例会（9月12日、10月3日）で、私は連続10回目となる一般質問に立ちました。「子どもの健全育成」をテーマとし、古賀市や近隣地域の方々からいただいた多くのご意見を踏まえ、小川洋知事と杉光誠教育長に問題提起。課題認識を共有し、具体的な取り組みに向けた前向きな答弁も得ました。今回のポイントは①子どもの遊びの実態とその改善策②子ども会育成会と青少年アンビシャス運動の活性化③学校と家庭、地域の連携による子どもの体力向上です。



知事、教育長に問題を提起した9月定例会・一般質問の様子

活力ある子ども会育成会の運営へ支援—教育長

最大のポイントは「**地域が一体となって子どもを育てる**」という理念を、福岡県の教育ビジョンに位置付けること。特に、私が育ててもらった「子ども会育成会」の果たす役割、県が県民運動として展開する「**青少年アンビシャス運動**」の活性化が極めて重要との認識があり、「**車の両輪**」として取り組むよう提起しました。

本会議では、私から「子ども会育成会の意義と役割は極めて重要なものであり、同じく地域で健全育成に取り組むアンビシャス広場も高く評価する面がある。本県は各地域で、結果として両者が併存する中で、ともに取り組まなければならない、協力・連携するなど『**地域が一体となって（子どもの健全育成を）進めること**』が重要」と提起しました。

知事は「それぞれの役割、違いはあるが、子どもたちの健やかな成長を支えるという目的は共通で、アンビシャス広場や子ども会育成会をはじめ、学校、PTAなどが**地域の実情に合わせて、互いに協力しながら、地域ぐるみ、また地域で一体となった子どもたちの健全育成に取り組んでいくことが極めて大事**」と認識を共有。教育長も「（子ども会育成会に対する取り組みの）充実を図り、**活力ある子ども会育成会の運営ができるよう支援する**」との考えを示しました。



この一般質問では、福岡県子ども会育成連合会に

加入する児童・生徒の割合が年々、相当のハイペースで減少していることが統計上、初めて明らかになりました。小学生を見ると、この20年間で加入率が6割から4割に減少。私から「**県として積極的、主体的に対応しなければならない**」と求め、教育長も応じています。

子どもの「外遊び」の推進—体力向上を

子どもの「外遊び」の少なさも問題提起しました。健全な心身の育成にとって、外遊びは極めて重要であり、2007年7月に出された日本学術会議の報告書も「外遊びの減少が子どもの身体活動量を減らし、それが運動能力、体力の低下を招く一因となっている。さらに友達関係を築く機会だけでなく、その方法を学ぶ機会すら失わせている」と指摘。質問の背景には、福岡県の子どもの体力水準が低い実態があります。

知事は「**屋内遊びの割合が高く、外遊びを増やすことが必要**」と認識を共有。「**子どもの豊かな感性や健全な心身を育てていくためには、外遊びは欠かすことのできない重要な要素**。このため、これからも（地域の中のアンビシャス）広場づくりや体験活動といったアンビシャス運動をしっかり推進していきたい」との考えを示しました。

また、教育長も今年度から県内の各学校において体力向上のために取り組んでいる「1校1取組」運動の好事例を挙げ、「**県教委としては、学校・家庭・地域が参画する好事例の効果を検証し、モデル校として位置づけ、市町村教委とも連携を図りながら県内全域に普及、啓発する**」との新たな方針を示しました。

＜田辺かずきプロフィール＞

1980年5月16日生まれ
1987年／暁の星幼稚園 卒園
1993年／花鶴小学校 卒業
1996年／古賀中学校 卒業
1999年／福岡県立福岡高校 卒業
2003年／慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社／福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年／大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事（当時）、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
2011年／福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員、国際交流推進対策調査特別委員

〔所属〕新社会推進商工委員会、防災及びエネルギー・水安定供給対策調査特別委員会、民主党青年委員会副委員長

〔家族〕会社員の妻、6歳の長男、3歳の長女

“田辺かずき事務所からのお知らせ”

◇対話集会を開催

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があってこそ。市内全域の公民館で対話集会を開催していますが、このほかにもご連絡いただければ、地域やご近所の皆さんとの集まり、サークル活動などでも県政報告と意見交換をさせていただきます。事務所（092-692-8510）まで。

◇県政報告書の発送

ブログによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書で活動をお伝えしています。新聞折り込みの特別号とは別に、通常号を2カ月に1回のペースで発行しており、ご連絡いただいた方には郵送させていただきますので、ご希望の方は事務所（092-692-8510）まで。

